

# 2025年度 欧州非干渉散乱 (EISCAT) レーダー観測及びデータ解析共同利用の募集案内

時下益々御清祥のこととお慶び申し上げます。

2025年度のEISCATレーダーを用いたEISCATレーダー観測共同利用を下記の要領で募集いたします。多くの皆様の共同利用・共同研究への御参加をお願い申し上げます。

## 1. 概要

日本は1996年に欧州非干渉散乱 (EISCAT) 科学協会に正式加盟し、複数のEISCATレーダーを用いた特別実験を実施しています。現在は、トロムソにあるUHFレーダー及びVHFレーダー、電離圏加熱装置、ロングイヤービェンにあるEISCAT スパールバルレーダー (ESR) の共同利用を行っています。2025年度の日本のEISCATレーダー観測時間は、合計で約100時間になる予定です。また、これまでに取得したEISCATレーダーデータを用いた共同利用・共同研究についても広く募集いたします。さらに、EISCAT\_3Dレーダーのファーストライト (初期観測) を2025年に開始することを予定しており、その後の定常利用開始に合わせた特別実験募集を別途行います。(注：状況に応じて、2025年度中にEISCAT\_3D特別実験の募集を開始します。EISCAT\_3Dレーダーの定常運用が実施されるまで、トロムソUHFレーダー及びVHFレーダーの運用が継続される予定です。)

## 2. 目的

EISCATレーダーシステムを用いることにより、サブオーロラ帯から極冠域にわたる極域の電子密度、電子・イオン温度、イオン組成、電気伝導度、イオン流、電場、電流、降下粒子、太陽風などの基礎物理量を、空間・時間分解能良く観測することができます。そのため、太陽風・磁気圏・電離圏・熱圏・大気圏結合システムの研究に大きな寄与をするものと期待されています。広い分野の多くの研究者の方々にEISCAT国際協同計画へ参加して頂き、斬新なアイデアに基づくレーダー実験やデータ解析を実施して、多くの科学的成果を上げて頂くことを強く希望しております。

取得されたデータ利用については、以下のデータポリシー (注：EISCAT科学協会発行。2025年1月に組織改編したEISCAT AB (スウェーデン国有会社) においても同様) に準拠します。

- ・ コモンプログラム (CP、共通実験) データに関しては、観測実施後直ちにEISCAT加盟国・準加盟国及び加盟国以外に対して、初期解析データ及び生データが公開されます。
- ・ スペシャルプログラム (SP、特別実験) データに関しては、実験実施の1年後にEISCAT加盟国及び準加盟国に対して生データが公開されます。実験実施の2年後には加盟国以外に対しても生データが公開されます。

## 3. 審査

国立極地研究所と名古屋大学宇宙地球環境研究所 (ISEE) が日本の共同利用・共同研究機関として、EISCAT科学協会との間の管理運営面や、EISCATレーダーを用いた計画立案、実験研究の実施等、研究に関することを担当しています。申請を頂いた共同研究課題は、国立極地研究所のEISCATレーダー運営分科会及びその下に設置されたEISCAT特別実験審査部会で、採否や特別実験の時間の割り当て等が審議されます。その内容を踏まえ、採否等の決定を2025年7月頃までに行う予定です。

#### 4. 申請方法

2025年度のEISCAT共同利用の申請について、

- ・ 特別実験の公募を年1回のみ行います。今回は2025年3月31日(月曜日)締め切りです。  
(緊急の特別実験希望については、随時、先端的レーダー研究推進センター・EISCAT\_3D運営グループまでご相談下さい。)
- ・ 特別実験を実施しないデータ利用の申請については随時受け付けます。
- ・ 申請書の送付先(電子メールアドレス): [eiscat@nipr.ac.jp](mailto:eiscat@nipr.ac.jp)

受取確認の電子メールを数日以内にお送りいたします。

もし確認が無い場合は、お手数ですが再度送付及び御連絡をお願いいたします。

申請時の注意点として、

- ・ 申請書の書式は2ページとなりますが、必要に応じてページ数を増やしても構いません。
- ・ 同一代表者が申請可能な件数は2件までです。
- ・ 実質継続課題(新規申請ではあるが、昨年度に同様の研究内容で申請している課題)については、申請書の「3. 昨年度の状況」の欄にもご記入下さい。

#### 5. 申請資格者

国、公、私立大学および国、公立研究機関の研究者、またはこれらに準ずる研究者(注:大学院博士後期課程の大学院生は、研究代表者になることができます)。ただし、大学院博士後期課程の大学院生は、申請前に指導教員と十分相談し、共同研究者に指導教員を必ず含め、利用責任者(注:EISCATレーダーを利用した研究を進める際に、責任をもつ立場の方)として下さい。

#### 6. ホームページ等

各々のレーダーの性能、過去に実施されたCP実験及び、SP実験、EISCATレーダーを用いて行われた研究、EISCATレーダー周辺の地上観測機器の配置等については、EISCAT本部ホームページ(<https://www.eiscat.se>)や、日本のEISCATプロジェクト用ホームページ(<https://polaris.nipr.ac.jp/~eiscat/>)、名古屋大学宇宙地球環境研究所(ISEE)のEISCATホームページ(<https://www.isee.nagoya-u.ac.jp/~eiscat/data/EISCAT.html>)をご参照下さい。

#### 7. 特別実験報告について

特別実験代表者には、年度末に開催するEISCAT研究集会(極地研研究集会及び名大ISEE研究集会)にて、特別実験報告をお願いしております。

#### 8. 問い合わせ先

[eiscat@nipr.ac.jp](mailto:eiscat@nipr.ac.jp) (電子メールアドレス)

EISCATレーダー実験やデータ解析等に関する問い合わせは、先端的レーダー研究推進センター・EISCAT\_3D運営グループまでお寄せ下さい。